

令和6年度 指定管理者年度評価シート

1 基本情報

施設名称	大阪市立東住吉スポーツセンター
施設所管課・担当	経済戦略局 スポーツ部 スポーツ施設担当
条例上の設置目的	スポーツセンターは、市民に体育、レクリエーションなど健康で文化的な各種行事を行う場所を提供するとともに、体育等の普及振興に寄与することを目的とする。
業務の概要	地域住民にスポーツ・レクリエーションの場や気軽に健康づくりや体力づくりに利用できる場を提供することにより、スポーツの普及振興を図る。
成果指標	アンケート調査による利用者満足度数値
数値目標	利用者満足度80%以上
指定管理者名	セントラルスポーツグループ
指定期間	令和6年4月1日～令和16年3月31日
評価対象期間	令和6年4月1日～令和7年3月31日

2 管理運営の成果・実績

成果指標	利用者人数	利用者満足度
数値目標		80%
年度実績		94.8%
達成率		118.5%

利用状況（第1体育場）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数			
稼働率	96.9%	99.1%	-2.2%

利用状況（第2体育場）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数			
稼働率	94.0%	96.5%	-2.5%

利用状況（多目的1）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数			
稼働率	49.1%	51.1%	-2.0%

3 収支状況

収入		当年度	前年度	差異（実績－計画）	主な要因
業務代行料	実績	37,704,268	28,220,700	0	
	計画	37,704,268	28,220,700		
利用料金収入	実績	7,037,060	9,227,800	-1,964,440	第1、2体育館の利用率が約95％に対し多目的の利用率は約50％にとどまっています。今後HPを活用し多目的の利用率を上げていきます。
	計画	9,001,500	10,160,600		
その他収入 （自主事業収入）	実績	12,055,342	10,703,049	2,053,342	自主事業が好調に推移しました。末期に関しても新規自主事業を増やし収入に繋げていきます。
	計画	10,002,000	9,427,500		
合計	実績	56,796,670	48,151,549	88,902	
	計画	56,707,768	47,808,800		

支出		当年度	前年度	差異（実績－計画）	主な要因
人件費	実績	13,641,969	16,450,867	-3,908,031	業務効率を考え業務にあたった事により、計画よりマイナスすることができました。引き続き効率的な営業を行ってまいります。
	計画	17,550,000	17,386,000		
物件費	実績	32,668,598	27,093,182	3,666,971	施設の経年劣化などの要因により保守管理(点検)費が増加しました。また施設美化の為の清掃費も上がっており計画より増となりました。
	計画	29,001,627	20,215,000		
その他事業費 （自主事業支出）	実績	5,207,885	6,916,857	-4,948,256	前年から引き続き同じ教室を行いました。業務委託者の契約の見直しなどを行い、計画を下回りました。来年度より幅広い年齢層獲得のため新規自主事業を立上げ施設を盛り上げます。
	計画	10,156,141	10,207,800		
合計	実績	51,518,452	50,460,906	-5,189,316	
	計画	56,707,768	47,808,800		

4 管理運営状況の評価（1次評価）

（1）成果指標の達成

評価項目	達成率	評価	特記事項
利用者満足度	118.5%	A	

（2）市費の縮減

市費の縮減に係る取組状況	評価	特記事項
・水道光熱費削減の取り組み 温度の設定を一定に保ち急激な負荷がかからないことに留意。各所のこまめな電源ON/OFFを実施。 ・館内整備や備品修理等スタッフによる改修や改善の取り組みを行う。	B	

（3）管理運営の履行状況

評価項目		評価	特記事項
施設の設置目的の達成及びサービスの向上			
施設の管理運営	施設の管理運営	B	
	事業計画の実施状況	B	
	施設の有効利用	B	
社会的責任・市の施策との整合性		B	

令和6年度 指定管理者年度評価シート

5 利用者ニーズ・満足度等

■良いと感じられたところ

・スタッフが明るく元気で対応が良い。

・雨の日にタオルを準備してくれる。

・体育場、スタジオのフロアがきれいで清潔。照明が明るく広くて使いやすい。

・トイレが清潔。

■改善すべきところ

・洋式トイレ及びウォシュレットが少ない。

・コインパーキングだが満車になる事が多く不便。

・多目的室の床が固い。

6 外部専門家意見

利用者満足度が、高い水準を維持しており更には昨年より向上している点が評価できる。

第1、2体育場の稼働率は高い水準を維持しているが多目的室の稼働率が年々減少しているため、改善の余地がある。原因を解明し取組を検討されたい。新規の自主事業の実施にも期待したい。

収支に関しては、収入は計画どおりに実行できており、支出について計画的な人員配置などによる人件費の抑制、自主事業である教室事業における委託業務の見直しなど効率的に経費削減に努めており、黒字となっている点は大いに評価できる。

次年度以降も、民間事業者の持つ経営ノウハウを発揮していただき、引き続き効率的な運営に期待する。

7 最終評価

評価項目	評価	所見
成果指標の達成	A	
市費の縮減	B	
管理運営の履行状況	B	
施設の設置目的の達成及びサービスの向上		
施設の管理運営		
事業計画の実施状況		
施設の有効利用		
社会的責任・市の施策との整合性		
総合評価	B	

令和6年度 指定管理者年度評価シート

1 基本情報

施設名称	大阪市立西屋内プール
施設所管課・担当	経済戦略局 スポーツ部 スポーツ施設担当
条例上の設置目的	水泳等の場を提供することにより、市民の健康を増進するとともに、水泳等の普及振興に寄与することを目的とする。
業務の概要	地域住民にスポーツ・レクリエーションの場や気軽に健康づくりや体力づくりに利用できる場を提供することにより、スポーツの普及振興を図る。
成果指標	アンケート調査による利用者満足度数値
数値目標	利用者満足度80%以上
指定管理者名	セントラルスポーツグループ
指定期間	令和6年4月1日～令和16年3月31日
評価対象期間	令和6年4月1日～令和7年3月31日

2 管理運営の成果・実績（屋内プール）

成果指標	利用者数	利用者満足度
数値目標		80%
年度実績		82.0%
達成率		102.5%

2 管理運営の成果・実績（トレーニング室）

成果指標	利用者人数	利用者満足度
数値目標		80%
年度実績		80.0%
達成率		100.0%

利用状況（屋内プール）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数	63,292	102,610	-39,318
稼働率			

利用状況（トレーニング室）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数	26,333	34,071	-7,738
稼働率			

令和6年度 指定管理者年度評価シート

3 収支状況

収入		当年度	前年度	差異(実績-計画)	主な要因
業務代行料	実績	68,114,068	61,550,559	0	
	計画	68,114,068	61,433,450		
利用料金収入	実績	35,141,890	39,584,721	-11,758,110	グーグルマップの概要閲覧更新等、外部に訴求する施策が不十分だったことで計画に届かなかった要因と考えますが、マシンの更新や清掃頻度を増す事で利用者の満足度向上を図りました。
	計画	46,900,000	48,169,450		
その他収入 (自主事業収入)	実績	50,939,662	64,394,147	14,733,662	子ども水泳教室において、約150名のキャンセル待ちを受入れて、教室売上が増収になったことが主な要因です。
	計画	36,206,000	37,504,900		
合計	実績	154,195,620	165,529,427	2,975,552	
	計画	151,220,068	147,107,800		

支出		当年度	前年度	差異(実績-計画)	主な要因
人件費	実績	39,688,187	47,932,922	-25,693,813	多業種勤務することにより業務効率化を図り、適正配置を行った事で人件費の抑制が推進出来ました。
	計画	65,382,000	63,195,000		
物件費	実績	100,578,031	85,602,736	19,838,048	諸々の原材料価格や人件費の上昇、施設の経年劣化による保守管理費や以前からの故障個所の修繕費が高み計画を超過しましたが、保守についてはグループ一括契約により契約金額の減額を行いました。
	計画	80,739,983	66,866,000		
その他事業費 (自主事業支出)	実績	9,314,570	24,831,940	4,216,486	最低賃金の変更に伴ってアルバイトスタッフの賃金を改定した事、水泳教室のキャンセル待ち受入のため、指導員を増員したことにより計画を超過しました。
	計画	5,098,084	17,046,800		
合計	実績	149,580,788	158,367,598	-1,639,279	
	計画	151,220,067	147,107,800		

4 管理運営状況の評価(1次評価)

(1) 成果指標の達成

評価項目	達成率	評価	特記事項
利用者満足度(プール)	102.5%	B	
利用者満足度(トレーニング室)	100.0%	B	

(2) 市費の縮減

市費の縮減に係る取組状況	評価	特記事項
・ボイラーの電源ON/OFF時間を季節により変更し、過剰使用とならないようにしました。 ・スタッフの複数エリア勤務を促進し、人件費縮減をしました。 ・全社一括発注システムを活用し、備品発注費を縮減しました。 ・節水装置導入によりシャワーの水量調整をしました。 ・修繕をスタッフで行い、修繕費を縮減しました。	B	

(3) 管理運営の履行状況

評価項目	評価	特記事項
施設の設置目的の達成及びサービスの向上		
施設の管理運営	B	
事業計画の実施状況	B	
施設の有効利用	B	
社会的責任・市の施策との整合性	B	

令和6年度 指定管理者年度評価シート

5 利用者ニーズ・満足度等

■良いと感じられたところ

- ・スタッフの挨拶、対応が良い。
- ・館内清掃が行き届いている。

■改善点

- ・洋式トイレを増やして欲しい。
- ・更衣室が狭いというご要望があり、幅の狭いベンチに変更しました。
- ・キャッシュレス決済の導入のご要望があり、導入しました。
- ・教室のWEB振替導入のご要望があり、改善しました。
- ・シャワールームのカビを改善して欲しいとご要望があり、清掃頻度を増やし、改善しました。
- ・シャワールームのシャワーを水温を安定させて欲しい、ホースタイプにして欲しいとご要望があり、改善しました。
- ・子供水泳教室において1クラスあたりの人数が多いとご要望があり、指導員を育成し、改善しました。
- ・Wi-Fiを導入して欲しいとご要望があり、改善しました。
- ・監視スタッフの容姿や対応を改善してほしいとご要望があり、指導教育し、改善しました。

6 外部専門家意見

プールの利用者数が前年度と比較し大幅に減少しており、その結果利用料収入も計画を下回っている状況である。利用者数が減少した原因について、グーグルマップの概要覧更新等、外部に訴求する施策が不十分だったと分析されているため、次年度に向けて対策を行っていただきたい。

自主事業収入について、子ども水泳教室において、約150名のキャンセル待ちを受入れることで売上が増収につながったとのことであり、運営努力について評価できる。

人件費の上昇や光熱水費の高騰など物価高の中、スタッフの適正配置を行い多業種勤務することによって業務効率化を図り、人件費の抑制に繋がったとの指定管理者のコメント通り経営努力を感じることができ、結果として支出が計画を下回り収支が黒字化できている点が評価できる。

利用者からの意見やニーズに対して細やかに対応していることが伺える。引き続きの利用環境の改善に向けた適切な対応に期待したい。

年度当初は指定管理者が変更したこともあり水泳教室について利用者からの意見が多数あったが、10月以降はほとんど意見がなくなったとのことで、利用者の声に対して丁寧に耳を傾けた結果であると思われる。引き続き、魅力的な施設となるよう尽力願いたい。

7 最終評価

評価項目	評価	所見
成果指標の達成	B	
市費の縮減	B	
管理運営の履行状況	B	
施設の設置目的の達成及びサービスの向上		
施設の管理運営		
事業計画の実施状況		
施設の有効利用		
社会的責任・市の施策との整合性		
総合評価	B	

令和6年度 指定管理者年度評価シート

1 基本情報

施設名称	大阪市立阿倍野屋内プール
施設所管課・担当	経済戦略局 スポーツ部 スポーツ施設担当
条例上の設置目的	水泳等の場を提供することにより、市民の健康を増進するとともに、水泳等の普及振興に寄与することを目的とする。
業務の概要	地域住民にスポーツ・レクリエーションの場や気軽に健康づくりや体力づくりに利用できる場を提供することにより、スポーツの普及振興を図る。
成果指標	アンケート調査による利用者満足度数値
数値目標	利用者満足度80%以上
指定管理者名	セントラルスポーツグループ
指定期間	令和6年4月1日～令和16年3月31日
評価対象期間	令和6年4月1日～令和7年3月31日

2 管理運営の成果・実績（屋内プール）

成果指標	利用者数	利用者満足度
数値目標		80%
年度実績		87.1%
達成率		108.9%

2 管理運営の成果・実績（トレーニング室）

成果指標	利用者人数	利用者満足度
数値目標		80%
年度実績		87.1%
達成率		108.9%

利用状況（屋内プール）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数	94,322	115,835	-21,513
稼働率			

利用状況（トレーニング室）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数	27,912	24,839	3,073
稼働率			

令和6年度 指定管理者年度評価シート

3 収支状況

収入		当年度	前年度	差異(実績-計画)	主な要因
業務代行料	実績	58,153,174	52,185,454	0	
	計画	58,153,174	52,049,500		
利用料金収入	実績	37,201,955	38,396,310	5,201,655	新プログラム等を導入した事により満足度の向上に繋げる事が出来、計画数値を大幅に上回る事が出来ました。
	計画	32,000,300	43,475,500		
その他収入 (自主事業収入)	実績	40,104,736	48,634,086	830,886	教室増設を実施する事で、在籍者数及び参加者数を大きく増やす事が出来ました。欠席者及びテスト後の保護者への連絡等、退会防止策を徹底する事で継続率の向上に繋がりました。
	計画	39,273,850	34,567,400		
合計	実績	135,459,865	139,215,850	6,032,541	
	計画	129,427,324	130,092,400		

支出		当年度	前年度	差異(実績-計画)	主な要因
人件費	実績	44,898,166	45,488,092	-20,483,834	適正な人員配置により人件費の抑に努めました。安全面を強化する事で安心安全な施設を提供出来ました。
	計画	65,382,000	63,514,000		
物件費	実績	79,632,674	70,872,126	19,583,706	新規開業準備に伴う事務消耗品費及び新規スタッフ雇用の為、リクルート費用の大幅な増により管理費用が大きく嵩みました。
	計画	60,048,968	57,474,000		
その他事業費 (自主事業支出)	実績	4,427,987	19,604,734	431,631	教室の増設及びキッズスクールへの参加者、在籍者増によりスタッフの配置を増した事で計画に対しては超過となりました。
	計画	3,996,356	9,104,400		
合計	実績	128,958,827	135,964,952	-468,497	
	計画	129,427,324	130,092,400		

4 管理運営状況の評価(1次評価)

(1) 成果指標の達成

評価項目	達成率	評価	特記事項
利用者満足度(プール)	108.9%	B	
利用者満足度(トレーニング室)	108.9%	B	

(2) 市費の縮減

市費の縮減に係る取組状況	評価	特記事項
・節水装置導入によりシャワーの水量調整を実施しました。 ・夏期のボイラーの可動時間の適正化を行いました。 ・照明点灯開始時間の調整(時間短縮)を実施しました。 ・館内空調の温度調整および運転時間調整を実施しました。 ・スタッフ用控室の空調電気使用時間調整を徹底しました。 ・内部書類は使用(印刷)済み用紙の再利用を徹底しました。 ・自社スタッフによる修繕及びメンテナンスを実施しました。	B	

(3) 管理運営の履行状況

評価項目	評価	特記事項
施設の設置目的の達成及びサービスの向上		
施設の管理運営	B	
事業計画の実施状況	B	
施設の有効利用	B	
社会的責任・市の施策との整合性	B	

令和 6 年度 指定管理者年度評価シート

5 利用者ニーズ・満足度等

■良いと感じられたところ

・プールの水質、透明度が非常に良好である。

・スタッフの挨拶、対応が良い。

・駐車場が無料である点。

・プールサイドでのレーン利用表示が明確である。

・施設内が綺麗で、スタッフの清掃が実施されている。

■改善すべきところ

・女性シャワー室、男性シャワー室の水温調整を実施しました。

・男性・女性更衣室の扉リニューアルを実施しました。

・夏場のプール室温および水温が高温になることから、営業中の25mプールへの給水を続け水温低下を図りました。

6 外部専門家意見

教室プログラムの充実により利用者数は前年度を下回るものの利用料収入が増加している点が評価できる。次年度に向けて利用者数を増加させるための方策など検討し、更なる増収に努められたい。また、欠席者及びテスト後の保護者への連絡等、退会防止策を徹底する事で継続率の向上に繋がたとのことで、継続して利用してもらう仕組みづくりは重要であると認識されているため次年度に期待する。

支出については、人件費が上昇するなか適正な人員配置などにより人件費を抑制しており、大幅に計画を下回ったため、その他経費が増加し計画を上回っているがカバーされている。光熱水費の単価増など支出に大きく影響する状況にあるが、収支として黒字を維持している点は運営努力されていることが伺える。一方、本社管理費が計画を大きく上回っているため、原因など詳細の説明を求める必要があると感じる。

地域住民などに対する周知活動により新規顧客獲得のための取り組みを行うとともに、安全で安心して利用できる施設運営に努めていただきたい。本施設の潜在的利用者のニーズを汲んだ、より効果的なマーケティング・PRの実施に向けて、ノウハウを活かしていただきたい。

7 最終評価

評価項目	評価	所見
成果指標の達成	B	
市費の縮減	B	
管理運営の履行状況	B	
施設の設置目的の達成及びサービスの向上		
施設の管理運営		
事業計画の実施状況		
施設の有効利用		
社会的責任・市の施策との整合性		
総合評価	B	